



学校を開き、生徒の未来を拓く

◇夏休みの活躍から前期再開に向けて

猛暑の日々が続いた夏休みも終わり、前期の後半が始まります。夏休み中、たくさんの巣中生の活躍を見たり、聞いたりしました。活躍した巣中生の一部ですが紹介をします。夏季学習会では分からないところを分かるまで先生に質問し取り組む姿、部活動では体調管理を心がけ暑い中でも休まず練習に参加する姿、地域ではラジオ体操や夏祭りで活躍し頼りとなる姿、中体連では努力を積み重ね「東海大会」「全国大会」出場、文化的な取組では「科学の甲子園」や「英語弁論大会」に出場し、得意をいかし活躍した生徒等もいました。また、高校見学会に参加し、自分の将来を真剣に考え、今の自分を見つめ直す貴重な経験をした生徒も多くいたと思います。

9月から前期が終わる残り1か月は「問い直す」というキーワードを掲げ、巣南中の教育活動を進めていきます。3年生は「前期めざす姿」の集大成として、9月下旬に広島・岡山への修学旅行が控えています。また、全学年、3日と4日は前期末テストが計画されています。学校が再開する中、「ゆっくりと身体も心も休めた夏休みだったけれど、9月の最初は気持ちが重い」と考えてしまう生徒もいると思います。学校生活を再スタートさせるためには、半歩前へと自分で踏み出すパワーも必要です。困ったことや気持ちの面で辛いと思うことがあれば、担任先生や相談しやすい先生に遠慮なく声をかけ、相談してみてください。また、9月の学校再開時は不安を抱える子どもが増えると言われています。保護者の皆様も、普段よりアンテナを高くし、お子さんの様子を見ていただけていると思います。気になる様子がありましたら、学校の教職員とも共有していただき、お子さんのことを一緒に考えていきましょう。厚生労働省では9月10日から16日を「自殺予防週間(QRコード参照)」とし、啓発活動を行っています。参考にしてください。



◇子どもたちの勉強や将来に対する意識調査より

【表1 学校で勉強する意味として重視してきたもの】

さて、表1は日本財団「18歳意識調査『国や社会に対する意識6か国調査』報告書(2024年4月3日)より作成しました。「将来の選択肢が広がる」「よりよい職業に就職できる」が各国共通して上位に挙がっているのが読み取れます。しかし、日本は「特にない」が13.5%であり、他国に比べ差が多くあることが

| | 日本 | アメリカ | イギリス | 中国 | 韓国 | インド |
|------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------------|-------------------|
| 1位 | 将来の選択肢が広がる | 将来の所得が高くなる | 将来の選択肢が広がる | 新しい学びや能力を得ることができる | よりよい学校に進学できる | 将来の所得が高くなる |
| 2位 | 新しい学びや能力を得ることができる | よりよい職業に就職できる | 将来の所得が高くなる | 将来の選択肢が広がる | 将来の選択肢が広がる | 新しい学びや能力を得ることができる |
| 3位 | よりよい職業に就職できる | 将来の選択肢が広がる | よりよい職業に就職できる | よりよい職業に就職できる | 勉強することが義務だから | よりよい職業に就職できる |
| 4位 | 自分の関心が広がる | 新しい学びや能力を得ることができる | 新しい学びや能力を得ることができる | 専門知識を得ることができる | よりよい職業に就職できる | 日々の暮らしに役立つ |
| 5位 | 将来の所得が高くなる | 日々の暮らしに役立つ | 目指したい目標が見つかる | 目指したい目標が見つかる | 将来の所得が高くなる | 将来の選択肢が広がる |
| 特にない | 13.5% | 2.6% | 1.0% | 0.0% | 1.4% | 1.0% |

【対象】日本・アメリカ・イギリス・中国・韓国・インド/各国17歳から19歳男女/各国1000名
 分かりました。次に「将来なりたい職業」の調査も行われました。日本人の17～19歳のトップ3は「芸能・音楽・映画」「医師・看護師」「教師・講師・保育士」でした。調査結果の中で気になった点が「特にない」と回答した生徒が20.3%いたことです。ちなみに日本以外の5か国では0.5%～3.2%でした。よって、17～19歳時点で、日本の子どもたちが「将来なりたい職業」が決まっていないことが突出していることが分かりました。2022年の同様な調査では16.1%であり、さらに増加傾向にあることが分かりました。このような社会的背景もあり、学んだ知識や技能を使い、子ども同士や子どもと教員・子どもと地域の方々など、様々な他者との関わりを通して、自分の考えを深め協働的に課題を解決する力が、社会に出てからも求められています。巣南中では、そのような力を付けるために、「令和の日本型学校教育」をふまえ、生徒が「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組んでいます。10月にはフリー参観を学年ごとに実施します。ご参観していただきますようお願いいたします。